

令和7年度予算額：32,106百万円

□ 事業目的

- 都民を支える地域医療を確保するため、**都内民間病院等**に対して**緊急的・臨時的支援**を実施するとともに、**高齢者をはじめとする患者受入体制を整備**

□ 事業概要

1 地域医療確保に係る緊急・臨時支援事業 16,632百万円、事業期間：令和7年度

緊急的・臨時的な対応として、都内民間病院に対し、**地域差による都内の物価を考慮した支援を実施**

[規模] 591施設、106,406床（都立・国立・区市町村立を除く）

[単価] 入院患者1人当たり1日580円、[要件] 都が別途行う「地域医療に関する調査」への協力

2 高齢者等受入体制確保に係る緊急支援事業 15,474百万円、事業期間：令和7～9年度

(1) 高齢者受入体制確保事業 9,380百万円

病院に対し、病床確保料を支払い、**高齢者の入院を受け入れる病床を確保**

[規模] 確保病床数1日あたり1,484床（都立・国立を除く）※200床未満：2床、200～399床：3床、400床以上：4床

[委託料] 1床当たり年629万円の病床確保料

[要件] 3年間の高齢者受入計画の策定、高齢者受入実績増加、9年度までに電子カルテ導入・医療情報連携基盤への接続、医療法等に規定する報告等の履行

(2) 小児・産科・救急医療受入推進事業 6,094百万円

小児科・産科・救急医療を担う診療科において、**患者の受入を推進するための診療体制確保を支援**

[規模] 小児科157施設、産科87施設、救急告示医療機関303施設（都立・国立を除く） [補助率] 10/10

[補助額] 1診療科当たり年1,114万円

[要件] 3年間の各診療科における体制確保計画策定、質の向上に関する院内研修の実施、9年度までに電子カルテ導入・医療情報連携基盤への接続、医療法等に規定する報告等の履行